

宝くじ助成金で貸出用テントを購入

(財)自治総合センターでは、宝くじの普及事業の一環として、地域の自主的なコミュニティ活動の健全な発展を図るため、「コミュニティ助成金」を交付し、豊かな地域づくりを応援しています。

このほど、市ではこの宝くじ助成金をもとに地域のコミュニティ活動に使用する、貸出用テントを購入しました。

購入したテントの利用により、地域のコミュニティ活動の一層の推進はもちろん、市内外の市民交流を活発化させることで地域を活性化させ、元気なまちづくりに貢献してくれるものと期待しています。



重要文化財「草薙家」で行われた放水訓練

文化財を火災から守ろう！ 文化財防火デー防災訓練

文化財防火デーの1月26日に田沢湖の「草薙家」で防災訓練が実施され、消防団や消防署、市関係者等30人が参加。119番通報や放水訓練のほか消火器による消火訓練が行われました。

また、これに先立ち1月21日には西木町の「大国主神社」で防災訓練が行われました。地元住民や消防関係者など50人が参加し、119番通報、バケツリレーによる初期消火訓練や消防団による放水訓練が行われました。

紙風船西木ふるさと会総会開催

2月18日、東京上野精養軒を会場に第18回紙風船西木ふるさと会(会長熊谷久)総会と懇親会が開催され、約110人が参加しました。

当日は、石黒市長や佐藤議長、佐藤市議、門脇市議、国会議員、門脇県議、田沢湖会、角館会をはじめ市関係者や団体のみなさんが出席し、西木町出身の直木賞作家西木正明氏の講演等が行われたほか、むらっこ物産館も出店しました。

第2部では、演歌歌手や会員による玄人はだしの民謡や踊りに時間の経つのも忘れて酔いしれ、ふるさとを偲び合い懇親を深め、来年2月17日の上野の山での再会を誓っていました。



「福は内！鬼は外！」節分祭の豆まき

立春の前日、2月3日に角館町の神明社で「節分祭」が行われました。

神明社の氏子や33歳、42歳の厄払い、後厄を済ませた代表、遷暦を迎えた方々の代表などにより豆や紅白餅、お菓子などがまかれると、集まった約200人の人たちは福を呼び込もうと一斉に手をのばしていました。

豆まきが終わると、参加した子どもたちは手に持ちきれないほどの豆やお菓子を抱え喜んでいました。

